

趣味は楽器演奏です。将来は趣味を生かして音楽関係に就職したいと思っています。
熊倉 健太さん(下粕尾)



犯罪から子どもを守るには

熊倉
鹿沼市は住みやすさばらしいまちですが、最近多発している子どもたちを狙う犯罪が心配です。これからの鹿沼市を担っている子どもたちの安全を守るため、どうしていけばいいか、ご意見を聞きたいです。

教育委員長

子どもの安全を守る活動は、学校・保護者・関係行政機関、そして地域全体が長く継続してやっていかなければならないと思います。具体的には、市が鹿沼市安全安心な学校づくり連絡協議会に事業を委託して、各校区の安全安心対

つていきたいと思っていますので、みなさんが考える補助制度についても、意見を聞かせたいと思います。
また、食料自給率が低迷している問題については、これから農業施策を展開していく必要があると思います。そして、食育の中で地産地消を含めて食の安全に関心を持って進めていかなければならないと思います。いろいろな支援や新たな施策を打ち出していきたいです。
さらには、農業に就労する場合の技術を習得できる、上都賀地方農業後継者学園がありますね。そういうところで学んで知識や技術を身につけていただきたいと思います。



早乙女 拓哉さん(北半田)
県立農業大学校で施設園芸の勉強をしています。趣味は釣りです。

策委員会に活動支援金を交付して、児童生徒の登下校時の見守り・付き添いなど安全確保のための事業を実施しています。また、ICタグを利用した登下校確認システムは、東小、中央小、北小、さつきが丘小、みどりが丘小の5校に導入しています。



ランドセルにセットしたICタグで登下校を確認

障害者・障害児のための施設を

高村
私は今、短期大学で社会福祉について学んでいます。栃木県には他県に比べると、福祉施設の数が少ないと思います。

東京の大学に行っています。中学校の英語の教師を目指して勉強しています。
山崎 亮介さん(深津)



中学生の国際社会への視野を広げたい

山崎

私はNPO法人に所属していますが、ベトナムやカンボジアでの活動を母校で講演させていただく機会がありました。その際の中学生の反応から、彼らの国際的関心が思っていたよりも低いと感じました。より広い視野を世界に向けて、若者の活躍の場を広げ、また、交流することで自分たちの鹿沼を深く知り、紹介することにも繋がるだろうと思っています。
私が教師になったときには、教科書には載っていないようなことも子どもたちに伝えられるように、これからも活動を続けたいと考えています。

実際、高齢者施設に比べると障害者・障害児施設は、鹿沼市内だけでみて少ないのではないのでしょうか。難しいこととは思いますが、もう少し力を入れていただきたいです。

市長

高齢者福祉についてですが、在宅での生活が困難な高齢者が入居する特別養護老人ホームは市内に6か所、347床ありますが、入所を待っている人がたくさんいるのが現状です。

また、障害者施設は、主な入所施設が4か所合計205人、通所施設は11か所合計271人、グループホームは11か所合計42人がそれぞれ利用しています。入居施設ではほぼ定員を満たしています。



高村 美幸さん(引田)
社会福祉を学んでいます。社会福祉の現場で働いていきたいと思っています。



昨年で11回目となった中学生海外体験学習

最後に阿部市長と中島教育委員長からそれぞれ、新成人者のみなさんにアドバイスをお願いします。
市長
自分がどう生きていくか人生の目標を立てることが大変重要だと思います。社会情勢や生活環境が変わると小さな目標は変わっていくこともあるかと思いますが、変わることもない人生の大きな目標を立て、その目標に向かって進むことがとても大切なことだと思います。
私自身、いろいろな経験をした人の話を聞きながら自分の目標を立てて進んできましたから、このことが一番大切だと感じます。

教育委員長

私は「らしさ」という言葉が好きです。例えば本田さんであれば「消防士らしさ」、早乙女さんであれば「農業」という専門の「らしさ」ですね。やさしいようで難しいと思いますが、これからの人生で「らしさ」を求められる場面に遭遇したときには、自分の「らしさ」を十分に発揮していただきたいと思います。

鹿沼市独自の農業支援を

早乙女

私は栃木県農業大学校に行っています。卒業後は就農しようと思っています。最近では、新規に農業を始める人のために就農支援資金制度という無利子でお金を借りられる制度がありますが、それだけでは農業を営んでも生活が大変だと思っています。

日本の食料自給率が40%を切っている今、市独自に特別な制度を設けると、これから農業を始める人も増えると思います。いちこの大産地である鹿沼市だからこそ、現状維持ではなく、これからの農業の発展のために、力を貸してほしいと思います。

市長

就農支援資金制度は栃木県です。窓口となって受付をしています。また、鹿沼市では現在ある補助制度に加え、いろいろな面で施設園芸に対する補助の充実を進めています。農業生産性がどう上がったいくか検証しながら補助制度を作

